

笑顔あふれる若木小学校

すべての人に居場所と出番があり、**ともに**学び続ける学校を目指して

昭和33年6月に開校した本校は、保護者や地域の方々に愛され、支えられながら、多くの子供たちを健やかに育んできた学校です。ここまで築き上げてきた伝統を守り、さらに発展させることは、今の私たちの使命です。その使命を果たすべく、保護者・地域の方々・教職員が思いを一つにし、**ともに**協働していくために経営方針を以下に示します。

1 教育目標（目指す児童像）

ともに生きる

- ◎ 考えて行動する子 ○ 思いやりのあるやさしい子
- 人のためにはたらく子 ○ ねばり強くあきらめない子

子供たちが生きる未来は、少子高齢化による生産年齢人口の減少、グローバル化やイノベーションによる急激な社会構造の変化、地球温暖化、価値観の多様化など、様々な問題の解決に挑戦していかなければならない時代です。そして、すでに、そのダイナミックな変化は始まっています。

その未来を明るいものとするために何よりも大切なものは、「子供たち」です。どのような困難に対しても、主体的に解決に取り組み、仲間**ともに**協働し、乗り越えるたくましい子供たちが、「**ともに生きる**社会」「持続可能な社会」をつくる担い手となります。

そこで、若木小学校では、教育目標を「**ともに生きる**」として、以下のような子供たちの育成を目指します。

- | | |
|----------------|--|
| ◎ 考えて行動する子 | 未知の問題に対して、自ら考え、判断し、行動できる力（ 主体性 ）の育成 |
| ○ 思いやりのあるやさしい子 | 違いを認め合い、みんなとなかよくできる力（ 人間関係形成 ）の育成 |
| ○ 人のためにはたらく子 | よりよい社会をつくろうと協力できる力（ 社会参画 ）の育成 |
| ○ ねばり強くあきらめない子 | なりたい自分に向けて努力する力（ 自己実現 ）の育成 |

2 目指す学校像

笑顔あふれる若木小学校

すべての人に居場所と出番があり、**ともに**学び続ける学校を目指して

- | | |
|-------------------|---------------------|
| ○ 笑顔あふれる子供たち | 「学校が好き、友達が好き、自分が好き」 |
| ○ 笑顔あふれる保護者・地域の方々 | 「通わせてよかった」「わがまちの誇り」 |
| ○ 笑顔あふれる教職員 | 「子供の笑顔のために共に働く喜び」 |

教育目標（目指す児童像）の実現に向けて、その土台となるものは、児童同士、児童と教師、学校と保護者・地域の方々のよりよい人間関係です。できないことや失敗を助けてくれる友達がいる。困ったことがあると親身に相談のってくれる先生がいる。学校の課題解決に協力してくれる保護者・地域の方々がいる。そのような学校は、すべての人に居場所と出番があり、ともに学び続けることのできる学校です。

そのような学校は、「分かる楽しさ」「できる喜び」に満ちあふれた笑顔あふれる学校です。

3 目指す学校像に向けた具体策

① 主体性を育む教育活動の充実

- ・学級活動等の話し合い活動を通して、自分たちの生活を自分たちでよりよくする経験を積ませます。
- ・児童会が中心となり、「若木小生活の基本ルール」等の見直しを図る「ルールメイキング」へ取り組ませます。
- ・板橋区授業スタンダードに沿った授業の中で、自ら学ぶ学び方を習得させます。

② かかわり合いを大切にした教育活動の充実（人間関係形成力の育成）

- ・特別活動、特に学級活動の計画的な実施

教育活動の基本集団である「学級」をよりよくするために、児童自らが課題を見つけ、みんなで解決方法を話し合い、決めたことを実践する「学級活動」の指導を充実させます。

- ・なかよし班活動（異年令集団活動）の充実

1年生から6年生までが、若木小の一員として、それぞれの役割を理解し、かかわり合う中で、かかわり合う楽しさ、役に立つ喜びを味わい、若木小への愛着と誇りを育みます。

全校児童が「憧れの6年生」を目指し、6年間の成長を実感できるように活動を工夫します。

③ 確かな学力、生きる力を育む授業の創造

- ・「若木小学習の基本ルール」「板橋区授業スタンダード」の徹底

児童に、基本的な学習習慣を身に付けさせるために、全校で「若木小学習の基本ルール」を実践します。また、授業においては、「板橋区授業スタンダード」に基づき、主体的・対話的で深い学びを実現します。

- ・一部教科担任制の推進

専科教員、時間講師による授業に加え、学年、ブロックによる授業交換を行い、多くの教師が指導に関わる「一部教科担任制」を推進します。児童にとっては、複数の教師とかかわり合うことで、相談できる教師が増えることや多くの目で見てもらえるメリットがあります。

④ 規範意識の向上

- ・ルールは思いやり

ルールは、誰もが安心・安全に生活するためにあり、そのルールを守ることは「相手への思いやり」であることを理解させた上で、「若木小 生活の基本ルール」を指導し、徹底を図ります。

特に、「時間を守る」「あいさつをする」「話を黙って聞く」は、全校で徹底して取り組みます。

⑤ 安心・安全の徹底

- ・いじめを許さない学級・学校づくり

いじめとは、「対象の児童が心身の苦痛を感じているもの」すべてであり、人権侵害であるという共通認識をもち、学校全体で強い危機意識をもって取り組みます。まず、学級活動など子供同士のよりよいかかわり合いを充実させ、仲のよい学級、正義の通る学級をつくることが、いじめ未然防止の最善策です。また、日頃から、教師が一人一人の児童の様子に目を配り、小さな変化を見逃さず、いじめが発見された時は、迅速にいじめ対策委員会を開催し、事実・対応策の情報共有を行い、学校全体でいじめの解消に取り組みます。

- ・セーフティガイドライン

学校だけでは対応できない事案が起きたとき、家庭、外部機関などと連携をとり、その事案の解決に向けて取り組んでいきますが、一方、真面目に学習に向き合う児童の学びの保障が優先されなくてはなりません。

そこで、若木小学校では、学校の秩序を守るための「若木小セーフティガイドライン」を保護者に示し、理解と協力をお願いしていきます。

- ・新型コロナウイルス感染症への対応と学びの保障

板橋区のガイドラインに沿って対応しますが、可能な限り児童のかかわり合いを大切にした取組を行います。また、オンライン学習などを含め、すべての児童に対して、学びの保障を忘れないでください。

⑥ 保護者・地域の方々との信頼関係の構築

- ・保護者会の充実

保護者会は、学校と家庭が児童の教育に対して共通理解を深める場であるとともに、保護者同士の人間関係を広げられる場となるように充実させていきます。

⑦ 特色ある教育活動の充実

- ・けん玉検定

自らの設定した目標に向け、ねばり強く取り組む態度を育成します。若木小だから、取り組むことができる「けん玉」です。「けん玉」担当が中心となって、たてわり班を有効活用し、計画的に取り組ませていきます。

- ・さくら草の一人一鉢栽培

自然を大切に、愛する心情を育むと共に、若木地域への愛着と誇りをもたせます。3月の「さくら草まつり」の開催校として、全校を挙げて、大切に育てます。

⑧ 教職員のワークライフバランスの推進

溢れんばかりのエネルギーをもつ児童の教育の最前線に立つ教職は、大きなやりがいと充実感のある仕事です。一方、その分、身体の負担や精神的なストレスは決して少なくありません。教師が心身共に健康な状態で教育活動にあたれるように、働き方を見直していきます。

- ・電話対応時刻の変更

今年度より8時～17時とします。

4 板橋区教育ビジョン 2025、さくら草学びのエリアの教育指針を踏まえて

ここまで述べてきた学校経営方針は、以下に示す「板橋区教育ビジョン 2025」「さくら草学びのエリアの教育目標」を受けて、作成したものである。

① 板橋区教育ビジョン 2025 令和4年度は板橋区教育ビジョン 2025 の第3期実施計画の初年度にあたる。

- めざす将来像

“いきいき子ども！あたたか家族！はつらつせんせい！”地域が支える教育の板橋

“学び合う、学び続ける人づくり！”地域を創る教育の板橋

- 3つの基本的方向性

【これからの社会を生き抜く力の育成】

- ・確かな学力の定着・向上

- ・豊かな人間性の育成

- ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした教育の推進

【子どもの学びを保障する教育環境の確保】

- ・誰もが希望する質の高い教育を受けられる環境の整備

- ・保幼小中のつながりある教育の実現
- ・安心・安全な教育の推進と学校環境の整備

【地域と共に学び合う教育の推進】

- ・地域による学び支援活動の促進
- ・生涯学習社会へ向けた取組の充実
- ・家庭における教育力向上への支援

② さくら草学びのエリアの教育目標

- 教育目標 未来を担う人に必要とさせる資質・能力の育成
- 目指す子ども像 未来を切り拓き、たくましく生き抜く子
- 身に付けさせたい力
 - ・自分で考え、責任をもって行動する力
 - ・協働して、主体的に課題解決に取り組む力
 - ・失敗を恐れずチャレンジする力

